

平成23年度、日本ディスエイブルパワーリフティング連盟行事予定とお知らせ

## 登録について

- 1、パラリンピックや国際大会に参加を希望される選手、また、世界ランキング登録を希望される選手は、IPC登録が必要です。希望される方はご連絡ください。ただし、全部で20人しか枠がありませんので、定員になりましたら、締切らせていただきます。(登録費；3000円)
- 2、JDPFの西日本や、兵庫県大会、近畿大会、全日本大会、合宿に参加するには、JDPF登録が必要です。(登録費；2000円)

## 大会参加について

障害者手帳をお持ちであれば、JDPF主催の大会や合宿は、どなたでも参加できますが、最終的にクラス分けと言って、資格を持った医師による判定が有り、障害の程度によっては、参加できない場合もありますので、ご理解ください。

## 平成23年度の大会予定

- 1、4月(または8月) 5カ国対抗試合(日本、韓国、台湾、中国、ロシア)——ランキング登録大会になるかどうかは未定。詳細未定
- 2、5月15日 西日本選手権大会(愛知県) 世界ランキング登録大会申請予定(開催要項と申込書を同封しております。)
- 3、7月20-28日、IPCアジアパワーリフティング選手権大会(ヨルダン)、参加条件は、IPC登録済みの選手、並びに、標準記録突破選手。標準記録は、開催要項が出てからお知らせ致します。
- 4、8月28日 近畿大会(健全者・障害者交流大会)(兵庫県)
- 5、11月。合宿を予定しています。一泊で合宿を致します。内容は、トレーニング情報交換会、トレーニング合同練習、ルールクリニック、栄養クリニック、アンチドーピング講習会などです。
- 6、10月20-28日、IPC Khorfakkan 選手権大会 UAEで開催される国際大会。IPC世界ランキング登録大会です。IPC登録済み、IPCパスポート所有者、参加標準記録は有りません。
- 7、12月11日 全日本選手権大会(東京) ランキング登録大会申請予定会場；東京都スポーツ会館、江東区、開催要項と申込書を同封。

## 8、1月15日、兵庫県大会（兵庫）

本年度の行事に参加されるかどうか、打診アンケートを同封しております。ファックス、メール等で、御返信頂きますよう、お願い申し上げます。

### ドーピング検査について

IPCはドーピング検査が大変厳しいです。JDPFでも5月15日の西日本、12月11日の全日本選手権で、ドーピング検査を実施致します。薬を常用している選手も多いと思いますが、薬の全リストを、提出してください。財団法人日本障害者スポーツ協会医学委員会が、皆さんの使っておられる薬が安全かどうか、確認します。もし、ドーピング検査に引っ掛かるかもしれない薬を使っておられる場合は、皆さんの主治医、スポーツ協会医学委員会、ご本人の相談の上、薬を変更して頂くことが有ると思います。常用の薬が有る方は、必ず、薬物使用調査書を提出してください。（ただし、アジアパラ、世界選手権、パラリンピック等の国際大会に既に参加されて、その際にチェックを受け、それ以降、薬に変更がない場合は提出する必要はありません。）ドーピング検査陽性となりますと、2年間の資格停止となりますので、くれぐれも、ご注意をお願い致します。

### カテーテル使用者の方にご注意をお願い致します。

IPC,JDPFではカテーテル使用はドーピング検査違反ではありませんが、健常者のスポーツでは、カテーテル使用はドーピング違反となります。従いまして、カテーテルを使用しておられる場合で、健常者の大会に出られる場合は、JPC(日本パラリンピック委員会)にカテーテル使用証明書を発行して頂きます。既にお持ちの方は不要ですが、カテーテル使用証明書の必要な方はご一報ください。申請書類をお送りいたします。

### 東北関東大震災に会われた障害者の方がおられますでしょうか。

支援の情報を頂きましたので、ご覧ください。支援申し込みは直接、支援連絡先へお願いいたします。

連絡先；日本ディスエイブルパワーリフティング連盟、事務局

〒183-0051 東京都府中市栄町 3-31-36

電話 090-3007-0410 吉田寿子

メール [hisako@phouse.jp](mailto:hisako@phouse.jp)

ファックス 042-336-5081

## 2012年ロンドンパラリンピックに参加するには

最近、標題のお問い合わせが増えております。そこで、事務局として、2012年のロンドンパラを目指す方々に、パラリンピック選考過程について、まとめてみました。ご参考になれば幸いです。

IPF;健常者の連盟で、世界パワーリフティング連盟

IPC;国際パラリンピック委員会

- 1、ルールは2010年までのIPFルールとほぼ同じ。IPFルールと異なるところは、クラスが多少違う。ベンチ台の形状が違い足をベンチ台の上に乗せる。ノーギアであること。スタートの合図で、バーを胸まで降ろすが、IPFと異なり「プレス」の合図はない。自分で、しっかり止めて、まっすぐ挙上する。胸で止めた時にバーが揺れていたり、少しでも傾いたら失敗となる。第三試技を失敗しても特別試技ができる。など。
- 2、毎年3月末までに、次年度分のIPC登録を行う。1月に、登録のお知らせを送付。(本年度は、20名枠を申込、後、2、3人追加登録可能)
- 3、IPC登録をした選手の公式大会で出された記録が、世界ランキングとして集計される。この記録がパラリンピック代表を選ぶ最重要基準となる。
- 4、IPC公式大会とは、日本国内で開催されるその年のIPCから公認を受けた大会。例年全日本選手権と西日本選手権がこの対象となっている。そのほかには、世界選手権、大陸選手権等。平成23年度のIPC公式大会は、西日本、全日本、IPCアジア選手権、IPCKhorfakkan選手権の4つ。
- 5、国内の大会に出るには、日本国内選手登録が必要。その案内は、開催要項に記載。
- 6、パラリンピック代表になるには、パラリンピック終了年～次のパラリンピック前年の12月末までに一回以上国際大会参加の経験が必要。国際大会で、IPCパスポートの取得が義務付けられる。
- 7、パラリンピックの標準記録は、パラリンピック事に違うが、ロンドンの標準記録は次の通り。樹立期間は2010.1.1～2012.2.27まで。

男子	48kg級	105kg	女子	40kg級	57.5kg
	52kg級	115kg		44kg級	60kg
	56kg級	125kg		48kg級	62.5kg
	60kg級	135kg		52kg級	65kg
	67.5kg級	142.5kg		56kg級	67.5kg
	75kg級	150kg		60kg級	70kg
	82.5kg級	157.5kg		67.5kg級	72.5kg
	90kg級	165kg		75kg級	77.5kg
	100kg級	172.5kg		82.5kg級	82.5kg

100以上級 180kg 90kg級 87.5kg

- 8、パラリンピックに出場できる基準は、上記標準記録を突破していること、ランキング順位が上位12番以内であること。(ロンドンでは10番にないかもしれないということです)。ただし、同じ国からは2名以下しか参加できないので、上位ランキングに同国の選手が多数いる場合は、それらの選手を除くので、12位以下でも指名される可能性がある。
- 9、財団法人日本障害者スポーツ協会より、パラリンピック推薦選手の募集があるので、上記標準を突破している選手、ランキング上位に食い込んでいる選手を、日本ディスエイブルパワーリフティング連盟選考委員会が選考し、スポーツ協会へ推薦選手を提出する。
- 10、スポーツ協会の審査、パラリンピック委員会からの指名により、最終的に、パラリンピック日本代表選手が決まる。
- 11、ただし、世界ランキングが下位でも、その国から一人も選手が出場しない場合はワイルドカード制度によって、1名の参加選手指名が来ることもある。
- 12、監督、コーチの専任は、日本ディスエイブルパワーリフティング連盟選考委員会が選考しスポーツ協会の承認を持って、決定する。

以上がパラリンピック選考手順です。